



## 消えゆく小切手



北陸銀行 国際部  
ニューヨーク駐在員事務所  
内間 洋子

### 1. はじめに

小切手はアメリカ国民にとって大変身近な決済手段です。しかし、2025年9月以降、コスト削減、スピード化、盗難・詐欺防止を目的とし、紙の小切手を段階的に廃止する動きが始まっています。日本でも2027年を目処に紙の手形や小切手を廃止し、デジタル債権に移行されるそうです。小切手縮小による効果や代替決済方法などについてご紹介します。

### 2. 小切手の起源とアメリカへの普及

今や風前の灯火の小切手ですが、その歴史は古く、古代メソポタミア（紀元前3000年前後）の商人が支払いの約束を記録するために使用した粘土板が起源とされています。その後、古代ローマ時代（紀元前1世紀ごろ）には羊皮紙信用状が使われるようになりました。そして、約1000年前の東地中海地域では、貿易商人たちが大量の実物通貨を運ぶ負担やリスクを減らすため、銀行口座から受取人への支払指示メモが発行されるようになりました。12～13世紀の十字軍遠征期には、西欧カトリック諸国と聖地エルサレムの間で、巡礼者の資産や遠征軍の軍資金を安全に移動管理することが必要となり、護衛団である武装修道会のテンプル騎士団が為替手形と現在の貯金通帳の原型を発明しました。これにより、銀行システムが発展し、ヨーロッパ全土へ普及していきました。

19世紀にはイギリスからアメリカへ小切手制度がもたらされました。当初は、主に国際貿易など高額取引に使用されていましたが、大恐慌時代の1940年には、退職者向けの経済的支援のために社会保障局が個人宛小切手の発行を開始し、一般にも広まってきました。1943年からは給与支給にも小切手が利用され、国民にも馴染みのある存在となり、個人用小切手の発行が進みました。食品や家賃、車の購入などあらゆる場面において、日付と金額を記入し署名するだけで現金同様に使用できる個人用小切手は利便性が高く、国民の必需品となりました。

しかし現在、世界的にデジタル決済が普及し、小切手の廃止への動きが急速に進み、小切手を見たことのない若者が増えています。

### 3. 小切手からの移行

小切手縮小の効果は、公的部門におけるコスト削減に表れています。社会保障局が2025会計年度に毎月の年金支給を小切手郵送から口座振替へ切り替えたことで、発行料・郵送料で8億ドル、人件費で5億5,000万ドル、情報技術システム予算と不動産で2億5,200万ドルの削減を達成したそうです。また、内国歳入局でも、給付金や税金還付金の口座振込が全体の93%に達し、2024年度は4,000万ドルのコスト削減になったとみられています。

個人・法人の民間部門における小切手発行数も急減しており、2015年の181億枚から2021年には112億枚と大きく減少しました。

### 4. 口座を持たない層への新サービス

一方で、アメリカ人の4.2%にあたる約560万人は、様々な理由で銀行口座を持たず、年金・税金還付金の受け取りや買い物時のデジタル決済に必要な預金口座やクレジットカードが利用できません。こうした層を対象に、口座不要のサービスが登場しています。

#### (1) プリペイド・デビットカード

クレジットカード会社と金融テクノロジー企業が提携し発行しているカードで、最大25万ドルのFDIC保険が付帯されており、カード発行の際の審査は不要かハードルが低く設定されています。チャージ残高の範囲内で、一般のクレジットカードが利用できる店舗であれば店頭・オンラインを含む幅広い利用が可能となっています。さらに、年金や税金還付金の受け取りもできます。

例：Bluebird by American Express、PayPal Prepaid Mastercard、Chime Visa Debit Cardなど。  
商品によっては月額料やATM利用料が無料。

#### (2) モバイル決済アプリ

スマートフォン上で送金・受け取りができるアプリを利用し、Visa、Mastercardなど大手クレジットカード会社が発行するプリペイドデビットカードとリンクさせ、支払いや年金・税金還付金の受け取りを可能にしています。

例：Venmo、PayPal、Cash Appなど。

#### (3) セカンドチャンス当座預金口座

銀行と金融テクノロジーが提携し、信用不良や当座貸越、その他の履歴のために銀行口座を持たない人向けに提供する特別当座預金口座です。口座開設にはChexSystemsのような報告機関による審査は不要です。収益をデビットカード取引手数料で確保することで、月額口座手数料、当座貸越手数料、外国取引手数料、ATMアクセス手数料を無料とし、給与日の2日前から資金にアクセスできるなどのモバイルバンキングサービスを提供しています。

例：Chase Secure Banking、Chime Checkingなど。

## 5. おわりに

かつて「安全・信用」が売りであった小切手は、今や盗難・詐欺・不正改ざんの標的となっています。偽造防止のマイクロプリントや「銀シール」など、セキュリティ対策が講じられてきましたが、リスクは増大しています。金融犯罪管理ソフトウェア企業のNasdaq Verafinの報告によると、2023年のアメリカにおける小切手詐欺の損失は、200億ドルを超えたそうです。

小切手は今後数年で消滅すると予想されています。5000年におよぶ歴史の幕引きは、多くのアメリカ人にとって感慨深い出来事になることでしょう。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。  
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp